

東日本大震災音楽復興支援コンサート

第10回 バチカンより日本へ祈りのレクイエム 2023 記念公演

東日本大震災の復興と世界の平和を祈る

生きる喜びの オペラコンサート

ブッチェーニ作曲
オペラ「ジャンニ・スキッキ」より
“私の愛しいお父様”
ロッシーニ作曲
オペラ「セビリアの理髪師」より三重唱
ピオヴァーニ作曲 / ジョヴァニョーリ編曲
“人生は美しい”

スメタナ作曲
“モルダウ”

ララ作曲
“グラナダ”

カンニオ作曲 / ジョヴァニョーリ編曲
“恋する兵士”

池田理代子脚本、薮田翔一作曲
新作オペラ「女王卑弥呼」より
“わが祖国よ”、“このスサノオは” ほか

*曲目、出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



岡崎 ゆみ (ピアノ)



辰巳 真理恵
(ソプラノ)



ミリアム・スカルチェッロ
(シンガーソングライター)



榛葉 昌寛
(テノール)



村田 孝高
(バリトン)

〈ホール内彫刻作品〉眞壁廉 (彫刻家) 〈司会〉牧野光子

全席自由 (税込) ¥5,500 ※3歳未満入場不可

チケットお問合せ

榛葉昌寛後援会事務局 または 後援会役員各人
TEL.080-5157-1794

プロジェクト総合お問合せ emmenta.co@gmail.com

オフィシャルHP <http://www.inorinorequiem.sakura.ne.jp>

オフィシャルYouTube Masahiro Shimba

2023年4月19日 WED

17:45 開場 / 18:30 開演

掛川市生涯学習センター

【主催】バチカンより日本へ祈りのレクイエム実行委員会

【共催】榛葉昌寛後援会

【協力】LA MONTINA

【助成】一般社団法人 東京倶楽部

【協賛】



三井化学株式会社

ジャパンソルト株式会社

東映株式会社

三光ソフランホールディングス株式会社

パチカンは、大切な日本の友人の皆さんに特別な友情を示すため、
 困難に寄り添う伝統的な精神と共に、
 このコンサートプロジェクトに参加します。
 日本においても多くの皆さんの参加を希望します。
 フランチェスコ・モンテリーズィ枢機卿



岡崎 ゆみ (ピアノ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了、ピアノ専攻。大学院修士課程2年目の1983年にハンガリー給費留学試験に最優秀で合格し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。Z・コーネル、F・シャンドールの他、マスタークラスにてゾルタン・コチシュ、オキサナ・ヤブロンスカヤ、ジョルジュ・シェベークに師事。1986年朝日新聞主催第5回「新人音楽コンクール」ピアノ部門に優勝。文部大臣賞を受賞。1989年にキングレコードよりデビュー CD を発売、その後ソニーレコードから CD を発売、全国でのソロ公演、室内楽、オーケストラ協演を行っている。NHK「おしゃれ工房」、テレビ朝日「USA エクスプレス」を始め多くのテレビ・ラジオ番組で司会を務めた。また、妊婦・乳幼児に向けたコンサートやお芝居仕立ての「音符物語」など、子供に向けたクラシック演奏の活動も多い。紀尾井ホールをはじめ毎年テーマを決めたソロリサイタルを開催している。2019年にはカーネギーホール公演で満席に近い現地の聴衆から大きな拍手が送られた。日本演奏連盟正会員、全日本ピアノ指導者協会正会員。ソニー教育財団評議員。



辰巳 真理恵 (ソプラノ)

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラ研修所修了後イタリアへ留学。東京二期会オペラ「フィガロの結婚」「こうもり」「メリー・ウィドー」などに出演、「愛の妙薬」アディーナは当たり役となる。'18年アルバム「Ba,Be,Bi,Bo,Bu」でメジャーデビュー。八王子FM「辰巳真理恵のBa,Be,Bi,Bo,Bu」ではパーソナリティを務め好評。'21年12月ヤクーツク国際コンクールでグランプリ受賞。昨年は映画「シグナチャー」の主題歌「大地のしずく」を歌いニース国際映画祭 主題歌賞にノミネートされる。二期会会員。7月に「ジャンニ・スキッキ」ヒロイン・ラウレッタ役、10月に辰巳真理恵ソプラノリサイタルVol.5を開催予定。



ミリアム・スカルチェッロ (シンガーソングライター)

イタリア、レッジョ・カラブリア国立音楽院を卒業し、教鞭も取った。Rai イタリア国営放送によって生中継された第一回美声コンクールに優勝し、Rai イタリア国営放送の音楽番組など多数出演する。レッジョ・カラブリア、アマルフィ、ナポリ、シチリア、ローマなどで行われる多くのフェスティバルには、欠かすことのできない存在となっている。彼女の語りと歌と音楽は、南イタリア人が決して忘れることのできない南イタリアの土壌の香りと故郷の味を感じさせる、唯一のシンガーソングライターといえる。



榛葉 昌寛 (テノール)

東京藝術大学卒業後、国際ロータリー財団奨学生として国立ミラノ・ヴェルディ音楽院にて学ぶ。テラモ市立劇場での「椿姫」アルフレード役にてデビューし、その後オペラ、コンサート活動はイタリアのみならずヨーロッパ、アメリカ、カナダなど華々しい。'13年より毎年「パチカンより日本へ祈りのレクイエム」を総合プロデュースし、東北音楽復興支援をしている。'13年天皇賞(秋)、'15年プロ野球日本シリーズ初戦、'18年日本シリーズと2度の国歌独唱は大絶賛された。掛川市・ベーザロ市の姉妹都市提携にも尽力し、輝け掛川応援大使にも任命されている。http://www.masahiroshimba.com



村田 孝高 (バリトン)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオ・マスターコース第46期修了。藤原歌劇団正会員。'01年イタリア声楽コンクール・シエナ部門入選。日本、イタリア、スロベニア、スペイン、フランスなどで、オペラやコンサートに活躍中。日本では数少ない演技派のバリトンとして評価が高い。サントリーホールにおける小林研一郎氏指揮「第九」をはじめ、ロッシェニ歌劇場とパチカンでのモーツァルト「レクイエム」、ロッシェニ「荘厳ミサ曲」、'17年ロッシェニ歌劇場管弦楽団来日公演のすべてで、ソリストを務める。'21年、フィンランドでの初演オペラ「眠る男」でタイトルロールを演じた。http://baramyu-manatsu.sblo.jp/



池田 理代子 (漫画家・声楽家)

東京音楽大学声楽科卒業。1972年「週刊マーガレット」にて連載を始めた「ベルサイユのばら」の大ヒットで、アニメ化、映画化、舞台化され、世界中で劇画家として知られる。そのほかには「オルフェウスの窓」、「栄光のナポレオン・エロイカ」など傑作を生みだし、それらは世界で愛読されている。45歳の時に幼いころからの夢だった歌手の道に進むことを決意し、東京音楽大学に入学、世界的ソプラノ、東敦子のもとで研鑽を積んだ。歌手としての活躍も華々しく、「第6回パチカンより日本へ祈りのレクイエム」聖マリア・マッジョレ大聖堂公演にも出演した。フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュバリ工章を授与。



藪田 翔一 (作曲家)

2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。第70回ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門優勝。ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲賞最優秀作品賞。文化庁長官表彰(国際芸術部門)第26回出光音楽賞。2018年には小倉百人一首100首を歌曲として作曲し、全音楽出版社より歌曲集「小倉百人一首」が出版される。2019年にはNHK交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等からの委嘱作品が初演され、今最も注目されている作曲家の一人である。

〈司会〉牧野光子 〈ホール内彫刻作品〉眞壁廉 (彫刻家)